

一昨年8月より、地域支援と汐風で勤務させていただいております鈴木研と申します。福浜会に入る前は、磐田市障害児学童等、主に子供たちと過ごしてきました。今、福浜会を利用されている方には、一緒に遊んだ方も多く居て、懐かしさを感じると共に成長も感じます。40代半ばに差し掛かり、昔のように走り回るのは難しくなった私ですが、これからも皆さんと一緒に少しでも成長できるように頑張っていこうと思っておりますので、どうかよろしくお願ひします。

そんな私には、よく使う好きな言葉があります。それは「どうしたの？」です。この言葉は、怒っている時、泣いている時、喜んでいる時・・・様々な時に使っています。私には、8歳と3歳の息子がいます。特に3歳の息子はよく怒り、よく泣き、よく笑います。先日息子が投げたはいけな物を見つけた。怒りたい気持ちをグッと抑えて、息子の横へ行き、精いっぱい作り笑顔で、「どうしたの？」と、声を掛けました。息子はバツが悪そうな顔をしながら、投げた物の行き先を見つめ、考えます。その横にいる私も、同じ物を見つめ、「どうして投げたのだろう？」と、寄り添い一緒に考えます。私はその時間がたまらなく好きです。

喜んでいる時や、楽しそうにしている時は、「どうしたの？」の言葉掛けで、中々分からない時ももちろんありますが、分かった時には、より一層喜ぶことができ、楽しむことができます。怒っている時や、泣いている時、悩んでいる時も同様に、解決する時もあれば、解決しない時も多くあります。そのすぐには解決しない時に、一緒に悩み、一緒に考えます。その時間が私の好きな時間であり、この言葉をよく使い好きな理由の一つだと思います。

地域支援という仕事柄、初めて会う方も多く、今後もたくさんの方々の出会いがあると思います。その時々で「どうしたの？」と言葉掛けをし、「どうしたいのだろう？」と一緒に考え、寄り添いながら、同じ方向を向いて、共に歩んでいこうと思います。

最後になりますが、先日、私の父親が、3歳の息子と遊んでいる際、困っている息子の横で「どうしたの？」と笑いかけていました。それを見た私は、この言葉を好きな理由をなんとなく分かった気がして、ほっこりとした気持ちになりました。

「どうしたの？」皆さんも使ってみませんか？